

合同企業説明会

今年も下記日程で合同企業説明会を計画したところ、57社の参加協力を得ることができました。昨年は26社だったので、大学にとっても学生にとっても本当にありがたいことだと思います。

学内合同企業説明会

●日時／平成19年2月8日(木)～9日(金)13時30分～16時30分

●場所／本学6号館 5階教室

●参加企業／57社 ●参加者／3年生(2日間で200名)

主な就職先

(平成19年3月卒業)

建設業

●東北ミサワホーム ●カセツ産業
●セキスイハイム中国 ●富田園 ●本間組

卸小売業

●アーランドサカモト ●キセキ東北
●岩手スバル自動車 ●北上ヘルシー ●99プラス
●コメリ ●サークルKサンクス ●佐藤養助商店
●ザ・ビッグスポーツ ●三櫻 ●ジョイス ●ショウエー
●スズキ自販岩手 ●ソフトバンクモバイル
●ダンロップファルケン南東北 ●東北医療器械
●東北資材 ●東北国分 ●トヨタカラーハブ
●ネットヨタ岩手 ●紅中 ●マックスバリュ東北
●マルト ●丸増ベニヤ商会 ●宮城ヤンマー商会
●ムラサキスポーツ ●薬王堂 ●山形ダイハツ販売
●ユニバース ●ヨークベニマル ●よねや商事
●ドンク

製造業

●F L C ●協同ゴム工販 ●グリーンテリカ
●サンボット ●大和冷機工業 ●千田精密東和
●日東ベスト ●引地精工 ●富士電業社
●北海道キリンビバレッジ ●三菱重工業サンショウ
●八満マテリアル ●薄衣電解工業

情報・通信業

●岩手日日新聞社 ●オレンジソフトテクノロジー
●ソフトウェア興業 ●東京コンピュータサービス

運輸業

●アーク引越センター ●佐川急便
●鈴江コーポレーション ●日本通運

飲食、宿泊業

●カルラ ●金馬車 ●くらコーポレーション ●大庄
●チムニー ●ホテル滝の湯 ●三ツ和
●盛岡グランドホテル ●ワタミ

教育、学習支援

●専修大学北上高等学校 ●共育舎
●花巻スイミングスクール ●長井自動車学校

サービス業

●アイプランツ ●秋田基準寝具 ●エスタディオ
●キャンストアオペレーション ●興栄商事 ●五光
●セノン ●総合警備保障 ●タイセー
●東北総合警備保障 ●東洋ワーク ●トスネット
●ナウエル ●西尾レントール
●プレスステージ・インターナショナル ●マルハン ●ヤマコウ

金融業

●青森県信用組合 ●一関信用金庫 ●オリエント貿易
●太平洋物産 ●ライフ

不動産業

●レオパレス21

公務

●陸上自衛隊 ●警視庁 ●刑務官 ●岩手県警察
●千葉県警察 ●久慈市役所 ●羽後町教育委員会
●花巻市都市施設管理公社

OGから一言

菊地知亜紀さん(38回生)

富士大学を卒業して1年。これまでを振り返ると学生から社会人と環境が大きく変化した自分自身、僅かながら成長したかなと思っています。

私は現在、株式会社シリウスという会社に勤めています。主にアイフルホームやアーデンホームを扱っている住宅会社です。私は事務職なのですが、お客様の応対や現場に行ったりと仕事の幅は広く、仕事を覚えるまで大変でした。とにかく分からないことを恥ずかしがらずに聞くという事を徹底し徐々に仕事を覚えていきました。最初は出来なくて当たり前。でも一番大事なのは、取り組む気持ちです。どんな事にでも言えますが、私は大学時代にこの事を学び、今となってはその大切さを痛感しています。今では仕事にも慣れ、少し余裕も出来たので、習い事や趣味などにも取り組んでいます。ストレス社会の世の中と言われるますが、息抜きやエネルギーを蓄える時間があれば毎日楽しく、一生懸命仕事に取り組むことが出来ると思います。仕事も自分自身も大切にしていきたいので、常に“バランス”を心がけるようにしています。

学生みなさん、どんな事にも一生懸命取り組んでください。スポーツも勉強も遊ぶ事も。それは必ず身になり、社会に出て役立ってほしいです。

社会人1年生の未熟者ですが、この1年で私が学んだ事です。大学生活を充実させ、そして素敵な社会人になってください！応援しています。

参加企業は、岩手・東京など13県都に及んでいます。居ながらにして優良企業の説明を受けられた学生諸君は幸せだと思います。

この影には先輩が各界で能力を発揮し、富士卒業生としての自覚をもって活躍してくれたおかげもあることを忘れてはいけません。

企業の大学卒業生の採用意欲は高水準ですから、積極的に就職活動を行ってキャリア設計(人生設計)図に添った生き方をしてもらいたいものです。

参加企業等の感想を聞くと、「明るく」「挨拶ができ」「真剣さが伝わる」ということでした。単純なことですが、就職支援を担当していて、こういう評価は本当に有難いと思います。

(就職部長 菊池定一)



「スポーツリーダー」初の認定

本学では、学生の将来設計を支援するキャリア形成、キャリア開発教育プログラムを設置しています。平成18年度は、日本体育協会公認の「スポーツリーダー(スポーツ指導基礎資格)」を取得できる教育プログラムを新設しました。

1年間で、資格取得に挑戦した4年生16名の中で、9名が初の認定者となりました。

平成18年度 本学施設の 学外者利用

本学の学内施設のうち、特にスポーツセンターは、今や本学の『自慢の巨大体育館(産経新聞2006.5.1掲載)』として、地元はもとより東北各地から大型バスで利用者が訪れるほど学外者に利用されています。また、5号館、6号館の教室も資格試験会場やスポーツ指導員講習会、岩手県高等学校研究発表会などの会場としての利用が増加しています。本学が地理的にも県中央部にあり、交通の便も良いことから、今後も利用が増加するものと思います。これからも地域に開かれた大学として、施設を開放して行きたいと思っています。

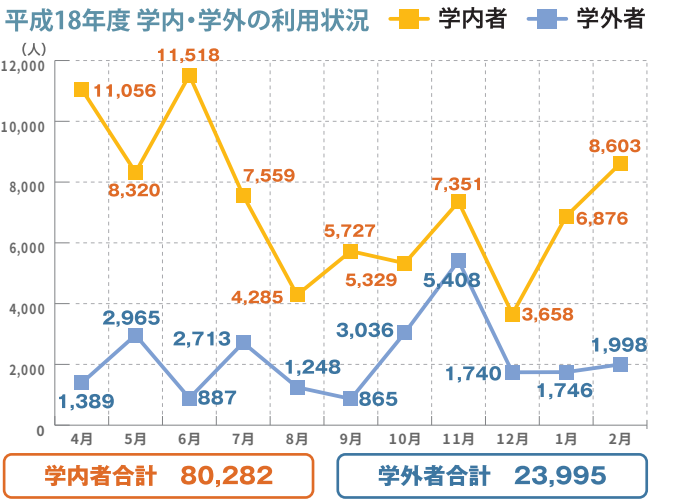


スポーツセンター 利用状況



平成10年にスポーツセンターが完成し、早8年が経ちました。毎年、雪が積もると屋外で練習することが出来なくなるため、冬季の館内利用者数は増加傾向にあります。今年は暖冬といわれているように雪がない状況でしたが、例年同様、多くの方々が来館しました。

学内では、授業や各クラブの練習はもちろん、グラウンドの改修工事に伴い、毎年屋外で行われているスポーツフェスティバル(学内体育大会)が今年度はスポーツセンター内で開催され、全学生が参加しました。また学外では、各種強化合宿、講習会、大会、花南地区運動会の開催など、小学生から一般まで周辺地域の方々のレクリエーションの場としても様々な競技に利用されています。



第6回 全国高校生童話大賞 表彰式

第6回全国高校生童話大賞は、選考委員の意見が分かれ、複数の委員を引き付ける大賞(金の星賞)相当の作品を見出すことができず、優秀賞(銀の星賞)を4名の方が受賞する結果となりました。

その表彰式が、平成18年12月24日(日)、優秀賞(銀の星賞)受賞者4名を東京、香川、山口、熊本から招いて、本学で開催されました。

表彰式終了後受賞者たちは、毎年恒例の花巻農業高校による鹿踊りを鑑賞し、その後、賢治ゆかりの地や宮沢賢治記念館等を見学して、花巻の文化や賢治の思想を堪能しました。

第6回 全国高校生 童話大賞 受賞作品	[優秀賞]東京都:白百合学園高校……………2年 市川 愛「かっぱのかあちゃん」 [優秀賞]香川県:県立三木高校……………2年 黒田佳奈「思い出の思い出は風の庭」 [優秀賞]山口県:県立防府高校……………3年 横田仁美「憎しみのカラス」 [優秀賞]熊本県:県立熊本高校……………2年 河原京里「夕焼けの精」
------------------------------	---



平成19年度 学事予定

4月 2~6日 在学生ガイダンス・履修登録・健康診断等 7日 入学式 9日 前期授業開始 9~13日 新入生ガイダンス 9~13日 在学生ガイダンス・履修登録・健康診断等 19~20日 新入生学外オリエンテーション	7月 17日 図書館専門職員養成講習開始(~9月11日) 23~31日 前期定期試験 8月 1日 夏季休暇(~9月7日) 25日 図書館専門職員養成講習司書補閉講式	10月 13~14日 紫陵祭 11月 28日 演習発表会	1月 17日 後期授業終了日 22~30日 後期定期試験 25日 創立記念日 31日 春期休暇(~3月31日)
5月 9日 教養演習旅行 学生友総会	9月 7~9日 父母懇談会 10日 花巻まつり 10日 後期授業開始 11日 図書館専門職員養成講習終了	12月 11日 冬期休暇(~1月4日)	2月 12~18日 後期再試験
6月 12日 スポーツフェスティバル		3月 卒業判定 卒業式	

アナウンス 広報室のE-mailアドレスを変更しました。スパムメール対策の一つです。読者の皆様、近況などをお知らせください。
富士大学広報誌「フェイス」 ●連絡先は広報室まで E-mail fuji-kou@fuji-u.ac.jp この紙は再生紙を使用しております。

FACE
富士大学

あなたへ、地域へ。一人ひとりに向き合って(FACE to FACEで)富士大の「いま」をお伝えしたい。
そんな思いを込めて、富士大学広報誌をFACEと名付けました。

広報誌 FUJI UNIV. INFOMATION
2007.3.30発行

21
Vol.

TOP NEWS
第39回富士大学
卒業式・修了式

卒業生へエールを送る
学部卒業生を代表して

FUJI UNIV.
campus TOPICS
青木アスリート特別奨学生
小沢みさきさん
報告祝賀会

アメリカ短期留学報告
RECORD FLASH 主な大会結果・各クラブ春合宿

合同企業説明会
主な就職先
OGから一言

シンポジウム「地域に貢献する大学」を目指して…
いわて5大学学長が討議

「スポーツリーダー」初の認定
平成18年度本学施設の学外者利用
スポーツセンター利用状況
第6回 全国高校生童話大賞 表彰式
平成19年度 学事予定

建学の精神
本学の教育理念は、人間の築き上げつつある
学術文化を研究・教授し、
深い教養と総合的判断力を見えた豊かな人間性を
養うことによって、平和的かつ創造的な文化の
向上と活かなる社会の発展に寄与する
人材を育成するにある。
この理念に基づき、特に地球的・国際的視野の涵養、
創造的・実践的知性の開発、
自発的・奉仕的精神の体得を目標として、
心身ともに健全な学生の育成を期する。

大学院／経済・経営システム研究科 経済学部／経済学科・経営法学科・経営情報学科
〒025-8501 岩手県花巻市下根子450-3
TEL 0198-23-6221・FAX 0198-23-5818 http://www.fuji-u.ac.jp/



TOP
NEWS

第39回富士大学卒業式・修了式

感謝胸に巣立ちの春

平成18年度卒業式及び大学院修了式が、3月19日、花巻市文化会館を会場に挙行され、経営情報学科の初の卒業生を含め、経済学部205名と大学院修士課程6名の呼名の後、学部総代及川鉄矢君(経営情報学科)に卒業証書・学位記が、大学院総代藤井学君(経済学専攻)に学位記が授与された。

また、学業成績、学術論文、課外活動(体育及び文化)での優秀者17名が表彰され、加えて、18年度より取得可能となった日本体育協会公認のスポーツリーダー(スポーツ指導基礎資格)取得者9名も紹介された。

小山田学長はその辞辞の中で、昨年のノーベル平和賞を受賞した、バングラディシュの経済学者ムハマド・ユヌス氏を取り上げ、「その心に学びつつ、野卑な考えに立ち向かう堂々たる人間になって、人生の成功者になってほしい」とはなむけの言葉を送られた。

また、一橋大学大学院の花枝英樹教授から祝辞をいただき「毎日の努力の積み重ねが必ずや未来のドアを開く」とはなむけのことばをいただいた。

卒業生を代表して、速水孝太君(経営情報学科)が答辞を読み「新たな発想と力強い行動力で困難に立ち向かい、社会に貢献したい」と抱負を述べた。

卒業生へ エールを送る



ご卒業おめでとうございます。今まで諸君を見守り、慈しんで下さった家族の方々を思い、感謝されていることと思います。いよいよこれから社会へ門出をすることになります。「卒業」を英語で言うところ「Commencement」と言いますが、「開始」という意味もあります。即ち次の段階への出発点なのです。私は多くの激励の言葉をここで述べて代わりに次の事を皆さんに提案したいと思います。一日の仕事を終えて就寝する前に、「5分間」人の話に耳を傾け、あるいは書物を読み、「5分間」それを文章として自分流にまとめ、「5分間」自分で考えてみる」ということです。これを1ヶ月繰り返せば7時間半の時間に30の話題に接することになります。ささやかな事でも積み重ねれば大きなものと成ります。人生には多くの飛躍の時が巡ってきます。「機会の神様は前髪があり、後ろは禿だ」(Occasio prima sui parte comosa, posteriori parte calva ローマの寓話作家Phaedrus)と言います。巡ってくるチャンスを的確に掴む為には自己を高め、見識を広め、深めておかななくてはなりません。どうか体には気を付けて「自分の人生を、自分の人生の為に、そして自分を支えてくれる人々の為に」生かして努力して下さい。ご活躍を祈ります。

(経営情報学科長 早川毅)

学部卒業生を 代表して



目標に向かって、全力で取り組む

私は、何をすることも常に目標を立て、その達成に向け一直線に力を入れます。そしてこれは私がテーマとしていることです。大学に入り、本業の勉強はしっかりやろうと決意し、やるからには誰にも負けたくないという思いで毎日の講義に出席し、納得のいく成績を残すことができました。4年生の時には、母校で教育実習を経験し、実際に何度も授業をさせて頂きました。実習を通し、人に何かを伝えるということは、とても難しいことだと身をもって体験しました。2週間という短い間でしたが、学生生活全体でも、この教育実習を経験したことはとても印象深く、さらに無事に成功できたことは、私の大きな自信となっています。

また、勉強だけでなく、高校から続けている柔道も地元の市で続け、大会に出場し、昇段もしました。そして、学生にとって最も重要なことである就職活動も、早い段階で企業研究等に着手した結果、スムーズに進めることができ、早期に内定を手に入れました。私にとって4年間の学生生活は、本当にあったという間であり、こうして振り返ってみると内容の充実したものだったと思います。就職しても、新たに目標を立て、その実現に向け邁進していきたいです。

(経営情報学科 及川鉄矢)

青木アスリート特別奨学生 小沢みさきさん

2006年ドーハにおける第15回アジア大会銀メダル、2006年女子ワールドカップスペイン大会第5位入賞、2007年1月アルゼンチンで開催されたチャンピオンズ・トロフィー大会第5位など、女子ホッケー日本代表選手として、国際舞台で活躍している本学女子ホッケー部の小沢みさき(3年:沼宮内高出身)さんに、2月1日「青木アスリート特別奨学生認定」の伝達式が行なわれ、青木繁理事長より認定書と奨学金が授与されました。

小沢みさきさんの活躍は、昨年県内外の新聞やテレビにて報道され、本学はもとより、岩手県の希望の星として、また、2008年北京オリンピック出場に向けて日本の期待となっています。

こうした全国的に活躍する学生を讃え、青木繁理事長より「青木アスリート特別奨学生」が認定されます。平成15年の全日本学生陸上競技ジュニア大会、競歩にて優勝した、田中久美子さんに続いて第2号となった小沢みさきさんには、北京オリンピックのコートに立ち活躍できるよう応援したいと思います。



報告祝賀会

小沢選手の偉業を讃え、今後の活躍を祈念し、校友会主催の「全日本女子ホッケー代表選手報告会」が開かれました。この会には、理事長、学長をはじめ教職員、学生が100名程出席し、アジア大会とチャンピオンズ・トロフィー大会についての報告もされました。

小沢さんから大会の報告や現地でのエピソードなどが話された他、男女のホッケー部員から質問が次々出され、「海外遠征中、一番愛しい人は誰ですか!」の質問に小沢さんは、「ホッケー部の皆さんです!」と即答、仲間たちのほっとした様子が印象的でした。最後は、女子ホッケー部全員で笑顔いっぱいの記念撮影が行なわれ、会を閉じました。



小沢みさきさんへの質問

Q 青木アスリート特別奨学生認定され田中久美子さんに引き継ぎ「入目となるわけですが、今のお気持ちは?

A 陸上競技で日本一の方と一緒に賞をいただけるのは、とても光栄です。私はまだ単独チームで日本一になった事がないので、また、2人目ということで本当に貴重な賞をいただけてとてもうれしです。

Q 北京オリンピック開催まであと1年あるわけですが、それまでの間、どういう気持ちで過ごされますか?

A 北京オリンピックの16人のメンバーに選ばれたことがまず必要なので、それに向けてトレーニング中は緊張感を持ってのぞみたいと思います。この1年は私にとって、とても短い1年になると思うので、1日1日を無駄にしないよう競技力向上に向け努力したいと思っています。

Q アジア大会を終えて、日本へ戻ってきて、新聞に大きなカラーで自分が掲載されていたり、その他たくさん看板等掲載されていたり、どう思いましたか?

A 素直な感想は、びびっ!でした。自分は必死にホッケーをしていたんだけど、まさかこんなに取り上げていただいている、でもこれですれどホッケーに対する知名度が上がってくればうれしと思います。

Q 北京オリンピックに向けての抱負

A あと1年と6ヶ月後に迫った北京オリンピックに向け、自分が出る最大の努力をすることはもちろん、応援して下さる周りの方々への感謝の気持ちを大切にしたいと思っています。最終的にオリンピックに行けるメンバーは16人なので、2008年の北京でコートの上に立っていられるように、そしてチームの目標であるメダル獲得に向けて日々の練習に取り組むたいと思います。

Q 最後に応援してほしい、ファンの方々にメッセージをお願いします。

A 入学前から本当にお世話になってます。本当にありがとうございます。その感謝の言葉に尽きます。そしてこれからもよろしくお願いします。

Q 監督コーチへ一言お願いします。

A 入学前から本当にお世話になってます。本当にありがとうございます。その感謝の言葉に尽きます。そしてこれからもよろしくお願いします。

(平成19年2月1日現在)

留学 生活

アメリカ短期留学報告

菅原靖規君(経営情報学科2年)

昨年の8月から12月までアメリカ合衆国アーカンソー州のOuachita Baptist University (OBU) に富士大学派遣学生として留学しました。

高校を卒業した頃からアメリカ留学に憧れ、アメリカの大学院で学びたいと思っていた私にとって、今回の留学は本物のアメリカを体験する絶好のチャンスとなりました。私はOBUでESLクラス(English as a Second Language)という英語コミュニケーションの授業とビジネスクラスに出席しました。また、アメリカでの生活と現地の人たちとの交流を通してアメリカ文化について多くのことを学びました。

アメリカは想像以上に日本とかけ離れた国でした。英語の発音やリズムは、日本語と全く違いますし、食べ物にはハンバーガーやピザといったファーストフードが中心です。町の風景も日本とは大きく異なっていました。私が滞在したアーカデルフィアの町は建物が洒落た感じで、豊かな自然の中に80年代を彷彿させるような(80年代の実際の風景はわかりませんが、私がイメージする80年代の)建物が立ち並んでいました。また、アメリカと例えば犯罪が多いことで有名ですが、有難いことにアーカデルフィアは犯罪が少なく、安全な町でした。



留学中にいちばん苦労したのは、会話をしているとき相手の話が聞き取れないことでした。自分から話すときは、辞書を使ったり、知っている単語を繋ぎ合わせたりして、何とか理解してもらえましたが、現地の人たちの発音は想像以上に癖があり、慣れるまでにとても時間がかかりました。

次に苦労したのは、日本人離れです。最初は右も左もわからなかったのも、日本人の新生と常に行動を共にしていました。そして、

その後は先輩の日本人留学生と一緒にいる時間が長くなり、アメリカ人とゆっくり話す機会があまりありませんでした。けれども、英語が聞き取れるようになってからは、なるべく日本人を避け、たとえ会話をしなくてもアメリカ人の側にいるように努めました。ロッククライミングや水泳に挑戦し、次第にアメリカ人学生とも仲良くなりました。友人の家族と湖のほとりのキャンピングに行き、ジェットスキーや山登りを楽しんだ週末のことは忘れられません。

今回の留学は、私の視野を大きく広げてくれましたし、英語を学習する上でとてもいい刺激になりました。この経験を生かし、今度はワンステップ上を目指したいと思います。また、この短期留学が毎年続くように協力していきたいと思っています。このような機会を与えていただき、本当にありがとうございました。



各クラブ春合宿

バスケットボール女子
2月26日～3月2日/国立岩手山青少年交流の家

サッカー
3月4日～3月31日
A・Bグループ
東京・静岡・大阪・宮城etc

硬式野球部
A班:2月19日～3月12日
沖縄青少年交流の家
B班:2月19日～3月26日
沖縄青少年交流の家
3月12日～4月1日
関東

ソフトボール
2月16日～4月1日/三重県熊野市

剣道
2月19日～2月24日/秋田県立田沢湖スポーツセンター

陸上競技
2月20日～3月8日/沖縄

準硬式野球
3月4日～17日/静岡・東京 3月29日～31日/宮城

ホッケー
3月5日～9日
山梨学院大学

ハンドボール女子
3月10日～17日/埼玉

柔道女子
3月6日～10日/東京(講道館)